

和歌山スキー協通信

2009. 1. 13 (08-09 NO. 3)

「派遣切り」など大企業の違法・無法が働く者の生活を深刻な状況に追い込んでいますが、年末年始にかけての「派遣村」に象徴されるよう、連帯の輪も広がっています。

スキーをする条件は厳しいですが、「スポーツは万人の権利」を合言葉に、会員の絆を深め、さらにその輪を広げてスポーツ環境を改善していきましょう。

シーズン真っ只中、安全と健康に十分気をつけて、なかまとともにスキーを楽しみましょう。

県スキー協主催行事のご案内

1/25

おじろ1Dayスキー

昨年に続き、ビュースタースポーツファミリーの行事に合わせて日帰りスキーに取り組みます。ビュースターの皆さんは「半日滑って温泉」、県スキー協は「夕方までしっかりスキー」の予定です。

(1/12現在、シュカブラの小浴・松木・田辺・温井・石倉〔以上シュカブラ〕の各氏と中岡〔すべりや〕が参加を予定しています。)

行き先 おじろスキー場 (兵庫県)
日程 1/24 (土) 午後 11 時出発
～ 1/25 (日) 夜帰着予定
集合場所 辻自動車 (和歌山市祇宜)
参加費 8000 円 (交通費・講習料・保険代)

3/26～28

体育同志会との交流スキー

第3回となる、学校体育研究同志会和歌山支部との交流スキーです。詳細は未定ですが、宿舎の部屋数確保のため、参加確認を急ぎたいと思います。

行き先 黒姫スノーパーク (予定)
日程 3/25 (水) 夜出発
～ 3/28 (土) 夜帰着予定
宿舎 黒姫ライジングサンホテル (予定)

県スキー協技術部会 報告

12/3、橋本市の伊都教育会館で 08-09 第1回技術部会を開催しました。参加は辻本・石倉〔シュカブラ〕・小林・静川〔きのくに〕・津田・中岡〔すべりや〕・坪倉〔大阪スキー協〕の7名でした。

今年度版の教程解説DVD「落とす技術からの展開」を視聴し、辻本技術部長が全国技術委員会の報告を兼ねて解説してくれました。(詳細については『スキーマイト』NO.127 (2008・11月号) に解説が掲載されていますのでご覧ください。)

正月のクラブ合同スキーでは早速「落とす技術」を検証してきたそうです。

クラブ合同正月スキー(12/30~1/3)

(「きのくにS. C. ニュース」より転載)

毎年恒例の正月スキーは黒姫スノーパークを会場に5日間といつものスキーツアーより長い滞在の日程でおこなっていますが、きのくにS Cから5名(村田・西野・畠中・岩橋・小林)が参加しました。他に石倉君(シュカブラS C)を加え6名で車1台での行事でした。

“あつという間の5日間”

スタートは朝7時前後から各人をひらい、夕方に現地に着くいつものパターンですが、秋の観光に使った伊勢湾岸道を使い「初日はその日のうちにつけばいいんだから、道中にある東海道53次の関宿によっていこう」と今回は岩橋さん発案で、関での町並み巡りを入れての取り組みになりました。

当時の宿の多さにびっくり

関は古代から交通の要衝で、古代三関の一つ「鈴鹿関」が置かれていたところで、江戸時代には東海道53次の江戸から数えて47番目の宿場町で、参勤交代や伊勢参りの人々で賑わっていたそうです。

一番多いときには宿が500軒近くあったそうで、その多さにはびっくりさせられます。いまの車社会になれた我々には、こんなに多くの方が訪れるのであれば、もっと道幅があつたであろうと想像しますが、車がすれちがえるかどうかぐらいの幅でしかないのは、当時は歩くか馬程度の交通手段であつたからこれでも広い道だったのかもしれませんが。

伊勢湾岸道

伊勢湾岸道はいまをときめくトヨタに通じるところだけあって、片道三車線の広々としたつくりになっており、海の上を通ったりしてい

て、たっぷりお金をかけた道路だなあとの印象です。

広い平野部を抱え海沿いだけに、風が強い時が多いのではないかと懸念もありますが、走りやすい道路で、これからも使えるルートだなあと思えました。

渋滞もなく順調に行け、3時過ぎには現地に着きました。一日目は疲れもなく元気いっぱい、夜には盛り上がりました。

晴れたり雪がふつたりの元気

ついたころには滑れる程度の積雪でしたが、滑る日からはあまり支障が出ることもないくらいになりました。

今シーズン初めて滑る人ばかりで、今年テーマでもある「落とす技術」の練習を取り入れ、昼前にビデオ撮影をしましたが、日を追うごとに上達しているのがよくわかりました。

1~2日目の日は雪がふつたりやんだり、寒かったのを除けばいいコンディションに恵まれた天気ですっかりと滑ることができました。

降り続く雪で悪戦苦闘

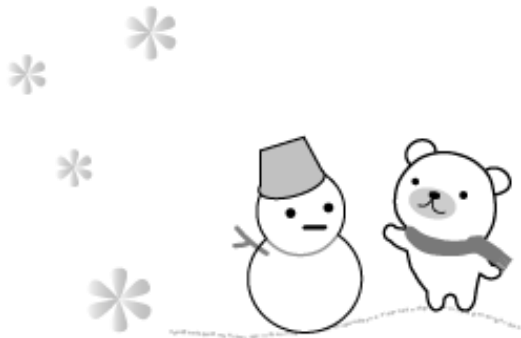
滑り3日目は降り続く雪で、見通しも悪く、コースは新雪状態になることも多く、気持ちよく滑れないと、うちのクラブ員は全員昼前後に滑りをやめて宿舎に帰ってしまいました。一人滑るのは石倉君だけで、「年の順番ですべりをやめるなあ」と冗談を言い合っていました。クラブ創設期のリフトが止まるまで滑っていたクラブの伝統(?)はいまいずこです。

トラウマ状態

夜は大阪の坪倉さんが持ち込んだ1000曲入ったカラオケで連日盛り上がり、連日のスキーで疲れがたまった結果と重なり、晴れた滑りには最高の最終日でしたが、滑ったのは石倉君一人で、昨日のことがトラウマになったり、長丁場のツアーには体力が必要なこともあり滑りを諦め、午前中を人それぞれで過ごしました。

連日の雪で4日間では1mくらいの積雪でした。皮肉なことにかえりの駒ヶ岳SA付近では快晴の雲ひとつない天候で「こんな天気で滑りたかったのに」と口々にいっていましたが、自然相手のスキーではこんなこともありで、いかんともしがたいことです。

無事にレベルアップした正月ツアーでした。



よろしく！クラブ役員さん

シーズン前には各クラブで総会が開かれ、役員体制や行事の計画が決まっています。今年度の各クラブの役員さんを紹介します。

きのくにスキークラブ

(総会 08.10.4 参加15名)

会長	栗林法嗣
技術	西村純一・崎山善久(副)
会計	静川晴子
メイト・機関紙	小林正知
行事企画	平山邦次・中村清美 ・畠中米蔵・岩橋俊幸

ビュースタースポーツファミリー

(総会&焼肉パーティー 08.11.9

参加12名)

会長	原田照久
副会長	北野洋子
会計	神谷治良
監事	辻 正雄

すべりやスキークラブ

(総会 08.11.19 参加3名)

会長	生地貞吉
事務局・機関紙	津田数久
会計・メイト	中岡 大

シュカブラスキークラブ

(忘年会 08.12.21 参加6名)

会長	市来桂一
副会長	辻本美保
事務局・メイト	小浴康弘
会計	田辺祐次

記念Tシャツはいかが？

全国スキー協創立40周年記念のTシャツ(1500円)・半袖ポロ(1700円)ができました。胸には「40th ANNIVERSARY」のロゴ、背中には「I♡SNOW I♡PEACE I♡EARTH」の文字が入ります。

20枚以上は送料無料、20枚以下は送料1000円。注文から約3週間で届くそうです。